

型式 **GVB**

車種・グレード **インプレッサ WRX STI**

車重 ノーマル1460kg→1487kg

タイヤ DL DIREZZA Z1☆

タイヤサイズ F&R 245/40R18

ホイール F&R RAYS VOLK Racing TE37SL

ホイールサイズ F&R 18×9.0J 45

最高出力 340ps

最大トルク -

サスペンション HKS ハイパーマックスⅢ SA名古屋ベイ仕様
 バネレート HKS F&R 8kg/mm
 ECU オリジナルECU
 タービン 純正
 排気量 1994cc
 カム 純正
 ミッション 純正
 クラッチ 純正
 L.S.D. 純正
 キャリパー エンドレス F 6Pot R 4Pot
 ブレーキパッド エンドレス F&R 試作



Dr.山本和正

ストリートクラス 4WDクラス 10位

1'05.965

型式 **S15**

車種・グレード **シルビア**

車重 ノーマル1240kg→1180kg

タイヤ HK Ventus R-S3

タイヤサイズ F&R 265/35R18

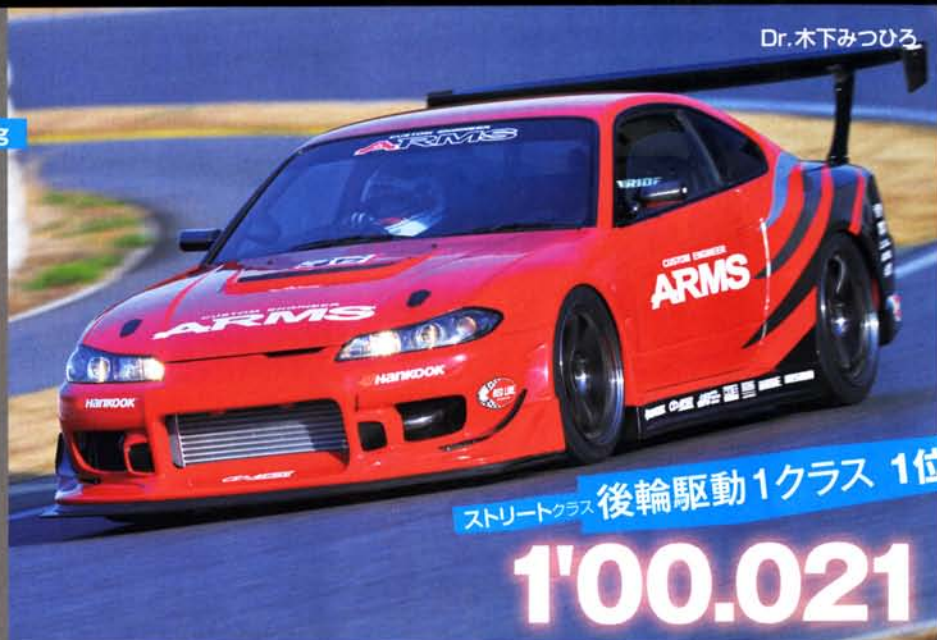
ホイール F&R RAYS TE37SL

ホイールサイズ F&R 18×10J 20

最高出力 420ps

最大トルク 45kgm

サスペンション ARMSオリジナル
 バネレート KYB F 11kg/mm R 12kg/mm
 ECU アベックス パワーFC
 タービン HKS GT-RS
 排気量 2164cc
 カム プリメーラ純正流用 IN 278° EX 280°
 ミッション HPI 6速クロス
 クラッチ ATS カーボンツイン
 L.S.D. ATS オリジナルカーボン 2way
 キャリパー F&R BCNR33純正ブレンボ
 ブレーキパッド F&R ARMSオリジナル



Dr.木下みつひろ

ストリートクラス 後輪駆動1クラス 1位

1'00.021

型式 **Z33**

車種・グレード **フェアレディZ**

車重 ノーマル1430kg→1542kg

タイヤ KH ECSTA V700

タイヤサイズ F 285/30R18 R 305/30R18

ホイール RAYS VOLK RACING TE37SL

ホイールサイズ F 18×10.0J 20 R 18×11.0J 20

最高出力 401ps

最大トルク 45.7kgm

サスペンション トレースダンパー
 バネレート Xコイル F20kg/mm R18kg/mm
 ECU FコンVプロ
 タービン HKS スーパーチャージャー
 排気量 3498cc
 カム HKS IN 264° EX264°
 ミッション 純正
 クラッチ OS技研 ツイン
 L.S.D. NISMO 1.5way
 キャリパー F D2Japan 8Pot R D2Japan 4Pot
 ブレーキパッド F&R D2 Japan レース用



ストリートクラス 後輪駆動1クラス 2位

1'02.153

Dr.佐々木雅弘

フィードバックポイント

買い替えなくても
仕様変更で
アップデート可能

サスペンション開発の熱心さで知られるSA名古屋ベイだが、当然のことながらエンジンチューンのノウハウもある。とはいえ、店の性格上、吸排気系+ブーストアップというユーザーがほとんど。しかしそのブーストアップにしても奥が深く、インプレッサ純正のSI-DRIVEを活かし、インテリジェントモードではとことん省燃費、スポーツモードでは、ハイパワー&ハイレスポンスと、メリハリの効いたセッティングもやっている。SI-DRIVEのリクエストにはきめ細かく応えてくれる。それがユーザーの想像以上に効果的であるがゆえに、ブーストアップで満足してしまうケースも珍しくない。ブーストアップには耐久性も含



めブーストアップならではのよさがあり、それを知り尽くしている証拠だろう。一方、サスペンションの開発もあきかわらず進んでいて、すでに完成しているハイパーMAX IIIベースのストリート仕様をベースに、もう少しスポーツ方向に振った車高調を開発中。まさに開発中のサスキットを今回持ち込んでいる。これも従来品を購入した人が、「もう少し」を欲したときに買い替えないで済むように、あえてMAX IIIスポーツではなく、同じベースでバネ、減衰力を変え、ピロアッパーマウントにするだけで、いつでもアップデート可能なように配慮している。いつでもユーザーと一緒に楽しめるクルマづくりを優先しているのだ。

スーパーオートボックス名古屋ベイ GVB

スーパーオートボックス名古屋ベイ 愛知県名古屋市港区木場町9-51
TEL052-693-2002 <http://www.ab-aichi.co.jp/>

タイム検証

街乗り+αのアシをもう一段階
煮詰めてセッティング

このGVBは、本誌の連載で紹介してきた通り、車高調の煮詰めだけで、街乗り+αのアシをもう一段階煮詰めてセッティング。今回の仕様はその正常進化モデルで、街乗りプラスアルファとして独自に開発したハイパーMAX IIIをピロアッパー化し、バネレートも7kg/mmから9kg/mmへアップ。あいかわらずデフも

純正、タイヤも純正サイズのまま、もう少しスポーツ性能を追求。その方向性に確かな手応えが感じられた。



フィードバックポイント

パワーとフットワークを
ハイレベルにバランスさせて
クラス優勝のタイムを叩き出す

エンジンは可変カム機構を持つエクストレイルのヘッドを流用した2164ccのSR20ターボ。これにIN278° EX280°カム、ARMSインマニ&Fパイプ、BOSS Lapアウトレット&エキマニ、アベックスメタル触媒等を装着し、パワーFCで制御。タービンは昨年よりも小径なHKS GT-RSに変更し、パワーはMAXで400ps程度。つまり絶対パワーよりも、低速のピックアップを上げることに主眼を置いた仕様だ。対して足まわりは今回からARMS仕様のスピリットショックに変更。これは「木下プロジェクト」の連載車である「街乗りS15」と同じ「誰もが買えるダンパー」であり、そこにF11kg/mm、R12kg/mmのKYB



スプリングを組み合わせただけの仕様で、1分フラットのタイムを叩き出した。ブレーキはR32 GT-R用ブレンボキャリパー&ローターだが、今後はオリジナルの2ピースローターを装着予定。駆動系はATS。イニシャルトルクを15kgmに高めたカーボンL.S.D.でターンインの挙動を安定させ、いち早くアクセルを開ける。木下プロは「サスとL.S.D.でメカニカルグリップを確保するからこそ、空力を最後の一手として使える」という。クラッチもカーボンツインを使うことで、軽量フライホイールでエンジンピックアップを向上させ、HPI製6速クロスミッションとともに、素早いシフトチェンジを実現している。

ARMS S15

ARMS 長野県長野市北尾張部382-1
TEL026-252-5220 <http://www.arms.ne.jp/index.html>

タイム検証

ストローク過程で突っ張らない
ダンパーが最後まで路面を捕らえた

もはや1分切りは目前、ということまで迫ったARMS号。その速さの秘訣は、430psを確実に路面へと伝えるシャシーセッティング。高い減衰力を発揮させながらも、フリクション性能を徹底追究したスピリットショックは、冷え込んだ当日の路面でもタイヤをグリップさせた。木下プロは「素

直に曲がるけど、最後まで踏ん張る。バンブラバーの効果も大きいね」とコメントしている。



フィードバックポイント

305/30R18サイズの
ワイドタイヤを活かした
コーナリング性能

クムホタイヤの高いグリップ力が好タイムに貢献している。何しろリア305幅のタイヤは見た目の印象も強烈だ。18インチを採用しているのは、17インチ、19インチよりも太いサイズを選べるなど選択肢に幅があるため。妥協のないタイヤサイズとスペックを求めると現状では18インチがベストだ。前後とも22kg/mmと高レートのスプリングとの組み合わせでありながら、減衰力特性に優れたトレスダンパーは乗り心地も良好。これだけのワイドタイヤにも関わらず、シッカリと面圧を掛けて走行できるサスセッティングとなっている。ボディ補強は10点式のロールバーのみ。エンジンはHKS製ローコンピストンで圧縮比を



9.0に落とし、スーパーチャージャー(S/C)を装着。FコンVプロ+ロムチューンで制御する。ハイパワー化にともなう信頼性向上のため、各部を強化。コンロッド、バルブスプリングはHKS製とされ、コンロッドメタル、クランクメタル、オイルポンプなどはニスモ製の強化品、燃料ポンプはサード製を使用。トラスト製強化ラジエター、HPI製インタークーラーを装着するなど、ただ単にS/Cを装着するのではなく、各部の強化や冷却性、信頼性向上のためのパーツ選定を行っている。この高バランスのクルマはオーナーカーとのことだけに、S/Cを装着するZのお手本の存在となるだろう。

D2japan with TwoSystem Z33

ツースystem 秋田県大曲市大曲字以与谷地93
TEL0187-66-1896 <http://www.twosystem.com/>

タイム検証

スーパーチャージャー装着車で
Z33トップタイムをマーク

このマシンが1分2秒153で、Z33トップタイムをマークした。エンジンはHKS製スーパーチャージャーを装着し、ブースト0.7kg/cm²で401ps/45.7kgmを発生している。車重1500kg超えを感じさせないハイパワーと、フロント285、リア305幅というクムホ製ワイドタイヤによ

ってパワーを確実に路面に伝えるシャシーとの絶妙なバランスがトップタイムの要因だ。

